

## 介護DXについて職場の状況を語ろう

日本人介護職員、  
外国人介護職員にとって便利!?



第一部:スピーカー 奈良 夕貴さん  
『[外国人介護職員の受入れ・定着のための機器等の活用事例集](#)』について

第二部:4~5人のグループにわかれて現場での介護DX(外国人介護職員のことに限らずICTや介護ロボットなど)の活用状況、効果や課題について情報交換。

介護現場で介護DX(ICTや介護ロボットなど)の導入が進められていますが、手探りの現場も多いのではないのでしょうか。

介護DXは、そのメリット・デメリットを理解し、ツールとして使いこなすことが大事です。また、新しいことに楽しみながらチャレンジする姿勢も大切です。

参加者同士で職場の状況や課題を共有し、介護福祉士として介護DXにどう向きあうか、一緒に考えましょう。

奈良夕貴さん [㈱NTT データ経営研究所]



前職は、一般社団法人シルバーサービス振興会に所属し、外国人技能実習制度における「介護技能実習評価試験」に係る業務全般を担当。

2021 年より、現職。現在、厚生労働省を中心に、外国人介護人材の活躍支援等の調査研究事業を実施。

日時：2025年9月26日(金) 20:00~21:10

対象:介護福祉士会 会員(他道府県の会員も参加できます)

介護DXに関心のある介護職員・介護福祉士養成施設教員

参加方法：ZOOM によるオンラインミーティング(参加費無料)

もうしこみ: <https://forms.gle/1S863h4E5RhZ5t2V6>

(9月24日までに、もうしこみしてください)

といあわせ:東京都介護福祉士会 国際事業委員会

[kuramotokoji@gmail.com](mailto:kuramotokoji@gmail.com) 蔵本

